分かちあいの世界へ「菜園家族」構想から学ぶ

都市と農村との共生をテーマに、農あるライフスタイルや田舎暮らし、 小貫雅男先生の"菜園構想"を学び、これからの農業のあり方を考えます。

> と き 2009年3月21日(土) 一部 午後1時 受付 / 午後1時30分 開演 二部 午後3時30分 ~ 午後4時30分 ところ 近江八幡市新佐衛門町 真崎ホール

参加費 一部 無料 二部 500円(飲み物とケーキ)

詳しいお問合せは…携帯090-8985-2013まで

第1部

くごあいさつ> まちづくりスペース「水と風と土・そして人と」 代表 西村 喜一氏

<講演> 森と湖を結ぶ「菜園家族」

講 師 小貫 雅男氏(里山研究庵Nomad主宰) 伊藤 恵子氏(同上 研究員)

くビデオ上演>

『ハローニッポン 伝えたい!田舎で暮らす素晴らしさ ~ジェフリー・アイリッシュさん(アメリカ)~鹿児島県川辺町』

〈質疑応答〉

〈閉会〉

第2部

〈活動事例発表〉

☆権座・水郷を守り育てる会の活動 ☆水茎町夢の郷委員会の活動 ☆まちづくりスペース「水と風と土・そして人と」

〈交流会〉

☆飲み物とケーキでほっとな時間☆
小貫先生・伊藤先生を囲んでティータイム

イベント関連企画 写真展 (3月中旬~4月末常設展示)

喫茶&工房 萌黄 企画 「琵琶湖の上流・永源寺から 母なる淡海までを繋ぐ」

講師紹介:

小貫 雅男氏

1935年中国・内モンゴル(旧満州)生まれ。京都大学大学院文学研究科修士課程修了。

大阪外国語大学教授、滋賀県立大学人間文化学部教授を経て、2005年同大学名誉教授。

現在、里山研究庵Nomad主宰。専門は、モンゴル近現代史、遊牧地域論、地域未来学。東西冷戦の終焉という激動期に、日本・モンゴル共同のゴビ・遊牧地域研究プロジェクトを組織。遊牧民とともに四季を過ごすフィールドワークや歴史学の視点から、自然と人間、家族と地域のあり方を探求。その成果のもとに、日本独自の自然循環型社会をめざす「菜園家族」というライフスタイルを提唱。2001年から滋賀県多賀町の鈴鹿山中・大君ヶ畑に、調査の拠点として「里山研究庵Nomad」を開き、構想を深めている。

■主な著書

『モンゴル現代史』(山川出版社、1993年)『菜園家族物語―子供に伝える未来への夢―』(伊藤恵子氏との共著、日本経済評論社、2006年)『菜園家族21―分かちあいの世界へ―』(伊藤恵子氏との共著、コモンズ、2008年)映像作品『四季・遊牧―ツェルゲルの人々―』(共同制作、大日、1998年)

伊藤 恵子氏

1971年 岐阜県生まれ。

1995年 大阪外国語大学モンゴル語学科卒業。

1997年 同大学大学院外国語学研究科修士課程修了。

滋賀県立大学人間文化学部非常勤講師うを経て、現在里山研究庵Nomad研究員、大阪大学非常勤講師。

専門は、モンゴル遊牧地域論、日本の地域社会論。モンゴル・ゴビ遊牧地域での越冬調査に参加。その記録映像作品『四季・遊牧』を共同製作し、上映活動を全国各地で展開。近江の農山村を主なフィールドに、不安定社会を生きる若者世代の視点から、地域のあり方を探っている。

主 催 有限会社レチェール・ユゲ

共催 まちづくりスペース「水と風と土・そして人と」

後 援 権座・水郷を守り育てる会 / 水茎町夢の郷委員会 / NPO都市型農業を考える会

映像作品『四季・



